

# 世界各国のイモビライザ 採用状況



## 世界の主要市場におけるイモビライザに関する法規制と保険要件、およびその搭載傾向

イモビライザは、自動車盗難防止に対して大変有効なツールであることが立証されています。しかしながら世界各国で法規制や保険要件が異なるため、どのタイプのイモビライザがそうした基準を満たすのかということは必ずしも明確にはなっていません。SBD の最新調査レポートでは、現在適用されている要件について明確に解説するとともに、各市場で最適なイモビライザ性能について検証します。また、必要最低限の法的要件に準拠するそれぞれのイモビライザの違いと、最新のハイテク盗難手法に対して有効なシステム性能についても分析しています。

本書は、オーストラリア、ブラジル、中国、ロシア、スウェーデン、英国、米国といった主要なグローバル市場を含む計 24 カ国における車両盗難傾向、イモビライザ要件、搭載率をまとめているほか、イモビライザ導入と盗難件数低下の関係性について解析します。



本書では以下のような内容を取り上げています。

- 各市場固有の法的要件についての解説、各市場における搭載戦略についての提言
- 高性能イモビライザ搭載による保険料割引への影響
- イモビライザのタイプ分析、各市場における最適イモビライザの特定
- イモビライザ搭載傾向と搭載による車両盗難への影響

詳細に関するお問い合わせは、下記にて承っております。

SBD ジャパン

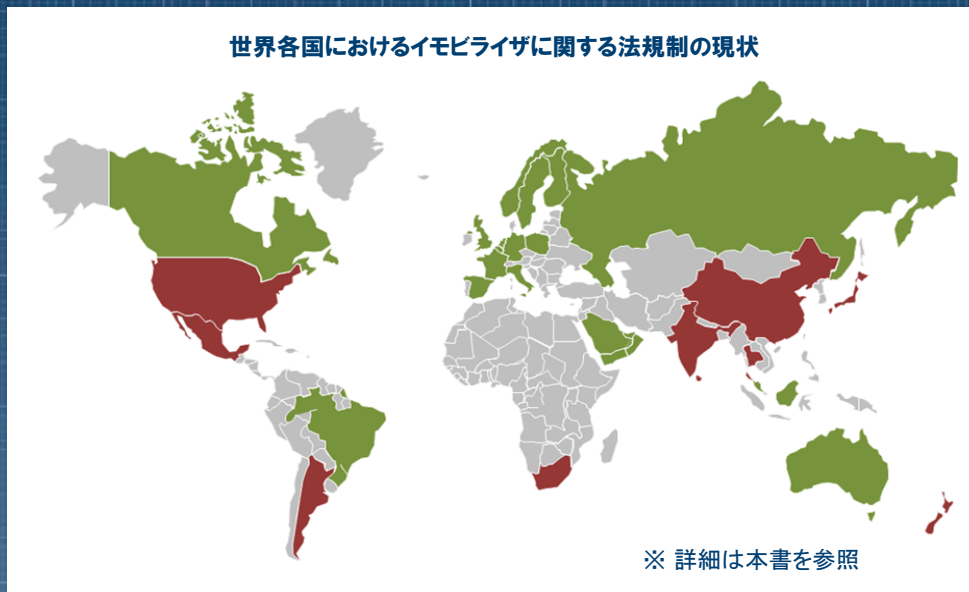
太田千絵

e-mail : cohta@sbdjapan.co.jp / Tel : 052-253-6202



## 5 分間アタックテスト採用は増加へ

イモビライザシステムは乗用車の盗難防止に大いに貢献するものであると広く一般に認められています。今回の SBD の調査では、イモビライザの装着を義務化している国とそうでない国、装着率の高い国と防盜策を車両へ殆ど採用していない国とを比較し解説します。また、様々なタイプのイモビライザ性能の比較分析を通して、最低限の法定要件に準拠するシステムと、保険での優遇措置を受けられると共に世界各国の車両盗難で使われる最新のアタック手法に耐え得るシステムとの違いを説明します。新車へのイモビライザ搭載率は高く、より厳しい性能要件を設定している国では盗難件数の大幅な減少が見られています。



近年、イモビライザ装着の法規制を採用する傾向が高まっており、2007年にはカナダで規制が導入され、つい最近の2010年にはマレーシアで、また2011年にはブラジルで法案が可決されています。UNECE規則の整合化によって既に多くの自動車メーカーがこの規則の要件適合を済ませており、従って協定加盟国ではこの規則を必須の法定要件として採用を進めています。通常は、保険協会の任意装着要件を導入する方がより迅速で簡単に実行できます。

英国自動車保険修理研究センター Thatcham は最も厳格な基準を設定しています。また、車両保険リスク等級制度への Thatcham 要件の採用について、各国の保険協会と協議中であるといわれています。2008 年にはスウェーデン が Thatcham 要件を導入しており、2011年3月には英国と類似のリスク等級制度を新規導入するための合意書をタイ損害保険協会 (GIA) と締結したことを発表しています。

SBD は、全ての イモビライザの市場設計目標として 5 分間アタックテスト性能基準への適合を提唱しています。この基準への準拠にあたってコスト増が避けられない場合、盗難リスクの低い市場では投入するコストに見合う成果はあまり期待できませんが、多くの先進市場においては盗難防止策の追加による効果があると見られます。また SBD では、5分間アタックテストの保険要件への採用は今後増加すると予想しています。

### 本書では以下のような疑問について解説しています

- イモビライザ搭載を義務化している市場および 各市場における搭載率は？
- イモビライザ導入前の盗難率は？
- 法的要件・保険要件を満たし、防盜性の高いイモビライザに必要な性能とは？
- より性能の高いイモビライザを実現することで期待できるその他の利点とは？

# 》》 ...know what tomorrow brings

## 目次

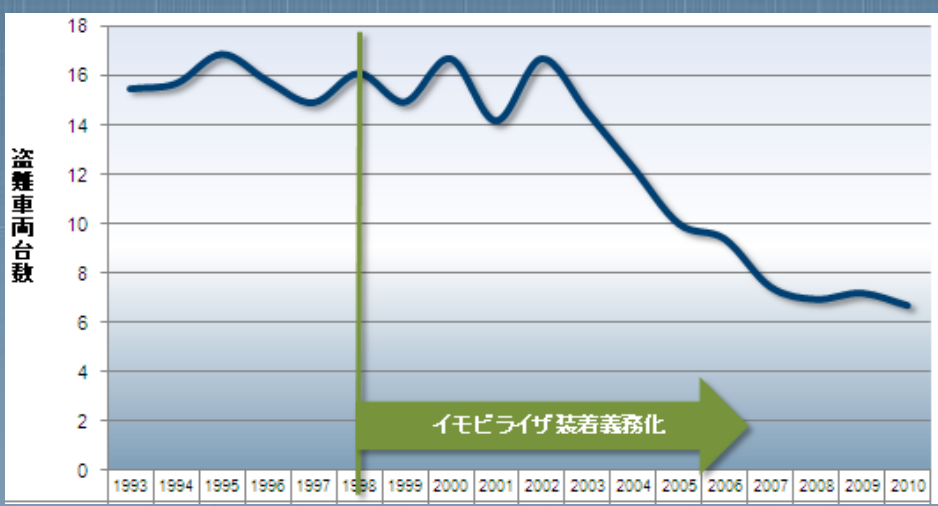
- 1. 要旨
  - 1.1 結論
  - 1.2 提言
- 2. イモビライザ
  - 2.1 初期のイモビライザの構造
  - 2.2 法定要件への適合
  - 2.3 現在のイモビライザの構造
  - 2.4 イモビライザの防盜性について
- 3. 世界におけるイモビライザの導入および装着状況
  - 3.1 必須装着の要件
  - 3.2 任意装着の要件
  - 3.3 盜難率の低下とイモビライザの関係
  - 3.4 今後の展開
- 4. 法規制とイモビライザ装着の総括
  - 4.1 装着率の算出方法
- 5~28 下記の国々の概要、法規制、保険、装着率、盜難件数
  - アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、中国、フィンランド、フランス、ドイツ、インド、イタリア、日本、マレーシア、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ロシア、スペイン、南アフリカ、スウェーデン、英国、米国
- 29. 本書で扱わなかった国々の情報
  - 29.1 湾岸諸国
  - 29.2 タイ

## 図表一覧

- 図 1. 単純なイモビライザ回路
- 図 2. ソフトウェアイモビライザの構成
- 表 3. SBD によるイモビライザの分類
- 図 4. 世界におけるイモビライザに関する法規制の現状
- 表 5. 国別のイモビライザレベルの要件
- 表 6. 本書で扱う各国のイモビライザに関する法規制と装着率
- 図表 7~ 66 下記の国々のイモビライザ要件の概要、イモビライザ装着率、車両盜難の推移

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、中国、フィンランド、フランス、ドイツ、インド、イタリア、日本、マレーシア、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ロシア、スペイン、南アフリカ、スウェーデン、英国、米国

イモビライザ装着義務化の導入と車両盜難の推移 (レポート内の図例)



## SBD の基本理念

SBD は 1995 年の設立以来、自動車業界向け技術動向調査レポートやエンドユーザー調査といったサービスをグローバルに展開し、お客様の戦略構築をサポートしています。

SBD の技術エキスパートチームが、お客様の状況を正確に把握し、各国の市場ニーズ・技術要件の理解と費用対効果の高い製品開発を支援します。

## 本書の著者について



クレイグ・ベスト: 自動車セキュリティ テクニカルアナリスト

ラフバラ大学で自動車工学を専攻し、自動車設計に関する幅広い知識を有する。SBDの各プロジェクトでは広範な調査に携わり、SBD独自の調査データベースの分析・管理も担当している。現在は世界の盗難統計と自動車技術情報を専門に手掛けている。

## 本書のご購入形態

※下記は税抜価格です

レポート名	日英対訳版 製本+PDFレポート
世界各国のイモビライザ採用状況 (SBD/SEC/2303)	¥405,000

お問い合わせは下記まで

**SBD ジャパン**

担当: 太田 千絵

Eメール: [cohta@sbdjapan.co.jp](mailto:cohta@sbdjapan.co.jp)

Tel: 052 253 6202

## 関連サービス

対象市場の自動車セキュリティ動向を簡潔なレポート形式で提供

SBD では、各国市場の自動車セキュリティ動向を簡潔にまとめたレポートを「スポットライトシリーズ」として毎月発行しています。同シリーズでは現在、オランダ、イギリス、ロシア、マレーシア、カナダ、オーストラリア、ブラジル、ドイツ、南アフリカを調査対象市場としています。スポットライトシリーズレポートの詳細につきましては SBD ジャパン (太田 / [cohta@sbdjapan.co.jp](mailto:cohta@sbdjapan.co.jp) / 052-253-6202) までお問い合わせください。

## 関連レポート



市場ニーズ、保険要件、盗難傾向に関する最新の情報を調査し、世界各国の市場レポートを発行しています。各市場における要件を正確に把握し、車両の盗難リスク低減にお役立て下さい。

- ベルギー (レポート番号: 2130)
- インド (レポート番号: 2078)
- 北米 (レポート番号: 2134)
- ブラジル (レポート番号: 2208)
- 日本 (レポート番号: 2010)
- スウェーデン (レポート番号: 2129)
- 中国 (レポート番号: 2170)
- マレーシア (レポート番号: 2037)
- ロシア (レポート番号: 2172)

お問合せは、SBD ジャパン (担当: 太田 / [cohta@sbdjapan.co.jp](mailto:cohta@sbdjapan.co.jp) / 052-253-6202) まで